

Vol.521

どうぞのいす ~小さな優しさ~

子どもたちが人や自然と触れ合う時間が、時代とともに減少しています。コロナ禍などによりその傾向は加速し、その結果、人との関わりの中で感情をコントロールできない子どもの姿が、以前より多く見られるようになりました。

子どもたちは、多くの人と関わり、さまざまな体験をする中で、喜び、悲しみ、嫌な思いなどを経験します。このプロセスを通じて、感受性が育まれ、心が豊かになっていきます。

町の保育施設では、子どもたちの感受性を育てるための一環として、絵本の読み聞かせを実施しています。ここで、子どもたちに人気の一冊「どうぞのいす」をご紹介します。

物語は、ウサギが木陰に小さな椅子を作り、「ど

うぞのいす」という看板を立てるところから始まります。最初に訪れたロバはどんぐりの入った籠を椅子に置いて昼寝をしてしまい、看板を見たクマがそのどんぐりを食べてしまいます。しかし、クマは次に来る動物のために蜂蜜入りの瓶を置き、その思いやりがそこを訪れる動物たちに次々と受け継がれていくという内容です。読み聞かせを聞いた子どもの中には、「優しいね」と友達に話す姿も見られました。

この絵本は、他者への思いやりを伝えています。絵本の動物たちのように、子どもたちが他者と交流を深め、思いやりの心と小さな優しさを育める環境を作っていきたいものです。

どうぞのいす

香山美子/作

柿本幸造/絵 ひさかたチャイルド ウサギが作った、誰でも休める「どうぞ のいす」。ところがロバが椅子にどんぐ り入りの籠を置いて昼寝をしてしまい…。



人権についての電話による相談窓口(平日のみ)

●同和問題をはじめとするさまざまな人権問題

熊本県人権センター ☎ 384-5822 午前9時~正午と午後1時~4時

●障がい者の人権および権利擁護

障がい者 110番 ☎ 354-4110 午後1時~5時

●法律問題、人権問題、人権侵害への救済について

みんなの人権 110 番 **2** 0570-003-110 午前 8 時 30 分~午後 5 時 15 分 以下全て午前8時30分~午後5時15分

●女性の人権

女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810

●子どもの人権

子どもの人権 110 番 20120-007-110

●いじめについて

とされています。

磐龍命が蹴った際に尻もちを突

「立てぬ」と言ったことが由

の土地の「立野」という地

名

は

の伝承であることが分かります。

益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770

●さまざまな人権問題

益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400

兄舌や 申舌は也多り戈) とうら

断層帯の位置と一致します。
がいいます。また、この大鯰はられています。また、この大鯰はられています。また、この大鯰はられています。また、この大鯰はらた鯰」の地名の由来とされています。大鯰が現在の嘉島町に流れ着き、大鯰が現在の高島町に流れ着き、大鯰が現在の高島町に流れ着き、大鯰が現在の高島町に流れ着き、大鯰が現在の高島町に流れ着き、大鯰が現在の高島町に流れ着き、

健磐龍命が退治しました。こ阿蘇の湖に住んでいた「大鯰」【阿蘇の大鯰神話】

を

デラの一部は切れて川が流れてお 発生しやすい場所で、 る場所に変えたとされています。 起きました。 所を蹴破り、 この舞台では「阿蘇大橋」 れる巨大な湖でした。 神話では、 「健磐龍命」がこの 湖を干して人が住 地質的に脆く災害 神話が災 の の 崩落 カ

益城町文化財保護委員会